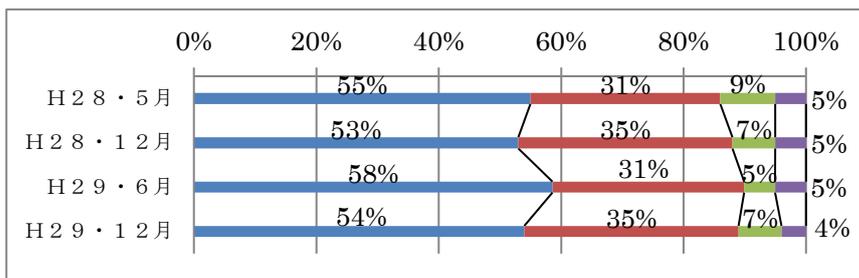
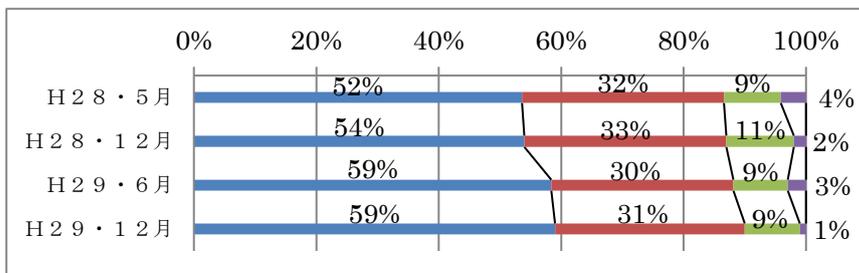


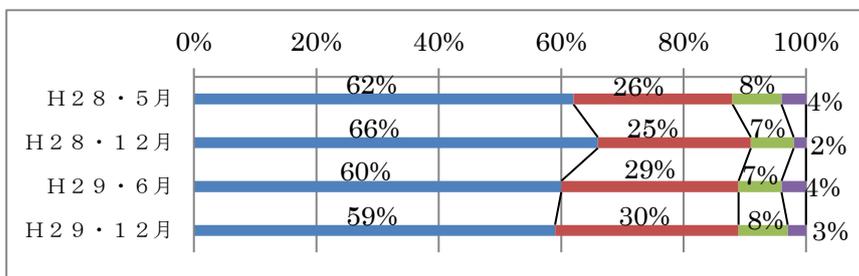
①算数の授業は 楽しいですか。



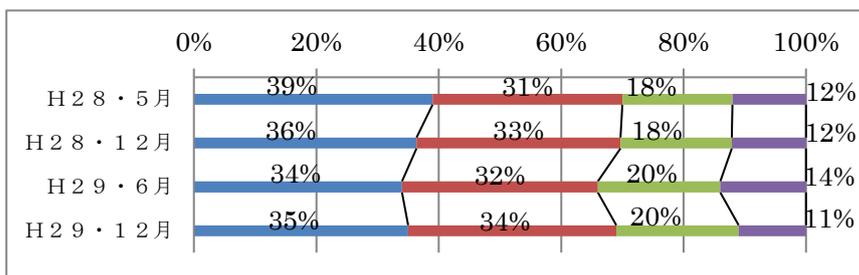
②自分の考えをノートに書けますか。



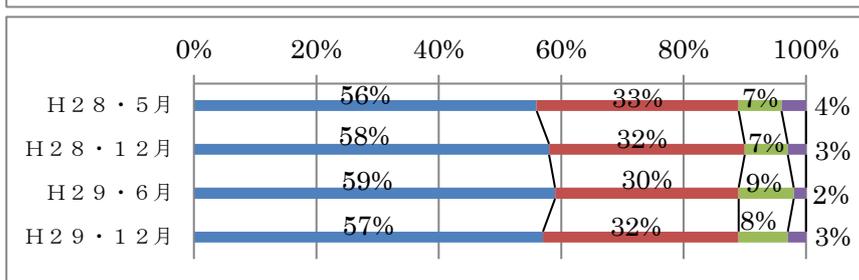
③自分の考えをペアやグループの友だちに話せますか。



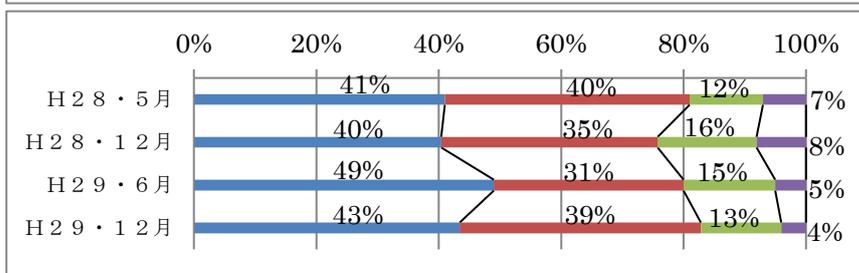
④自分の考えを全体の前で話せますか。



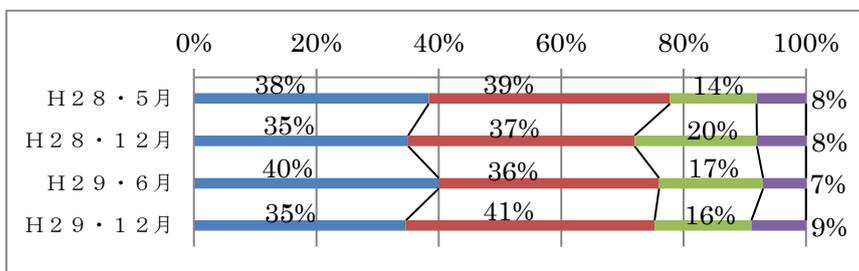
⑤友だちの考えを反応しながら最後まで聞いていますか。友だちの考えを自分の考えと比べながら聞いていますか。自分の考えと似ているところや違うところはどこかをかんがえたり、考えの良さを見つけたりしながら聞いていますか。



⑥自分の考えを絵や図、言葉などを使って説明できますか。



⑦友だちの考えとつないで自分の考えを話せますか。



<算数アンケートから>

- ・全ての項目で、できる・少しできるが増えている。
- ・できない0%が2項目あった。③「ペアに話す」⑥「説明する」
- ・できない・少しできないが12～13%と大きく減少している項目が3項目あった。
 - ④全体の前で話す 35%→23%
 - ⑤考えの異同や良さを見つけながら聞く 22%→5%
 - ⑥式や図などを使って工夫して説明する 22%→10%

考えの異同や良さを見つけながら聞くことで友だちの考えから学び、説明することで理解を深め「分かる・納得」につながる「伝え合い」ができるようになってきていると考えられる。

《考察2》 ～研究仮説「説明することを意識して自分の考えをかくこと」と「意欲的な伝え合い」との関連～

○「自分の考えをかくこと」が、「説明できる」につながってきている。

【昨年度】「考えを書く」できる・少しできる87% 「説明」少しできる・できる75%
【今年度】「考えを書く」できる・少しできる90% 「説明」少しできる・できる82%

昨年度は、「考えを書く」「説明」の「少しできる・できる」の差が大きいことから、自分の考えを書くことが説明活動に十分に活かされていないことが分かった。それにより、意欲的な伝え合いにまで至らなかったと考えられた。



今年度は、説明することを意識して自分の考えをかかせることに取り組んだ。

今年度は、両者の差が12%から8%に縮まっていることから、「考えを書く」ことが「説明活動」に活かしていることが分かる。

説明するためには、自分の式や答えの意味、数字の意味などを考え、図などの根拠と共に示す必要が生まれ、今まで以上に思考しながら自分の考えを書くようになったと考えられる。図や言葉を使って自分の考えの根拠を書くことで説明する内容を持つことができ、説明することができるようになったと思われる。

また、自分の考えを書く段階で思考しているので、友だちの考えを聞くときにも「考え方」に着目できるようになり、深い理解につながる伝え合いができていったと考えられる。

→教師がそのような書き方を求めたことで、子どもたちの力が育った。引き続き取り組むことが大事。

○「算数の授業が楽しさ」「考えを書く」「ペアやグループに話す」「全体の前で話す」「説明する」は、いずれも「楽しくない・できない」が減っている。

「説明する意識をもって自分の考えをかく」ことが、「伝え合い・説明・楽しさ」につながったと言える。また、「授業が楽しくない」が減っていることから、できるようになったことが楽しさにつながっていると考えられる。